

高病原性鳥インフルエンザの発生について

九州各県で高病原性鳥インフルエンザの要請確認が出ています。現時点で、福岡県での高病原性鳥インフルエンザウイルスの陽性確認はされていませんが、以下のことにご注意ください。なお、野鳥観察などの通常の接し方では、人への感染は考えられないとされています。

- 1 野鳥に近づいたり素手で触らないこと。
- 2 野鳥の排せつ物等に触れたときは手洗い、うがいをすること。
- 3 靴で野鳥の糞を踏まないよう十分注意すること。
- 4 野鳥を追い立てたり捕まえよう
- 5 死亡野鳥や傷病野鳥を見つけたら、触らずに公園管理事務所へ連絡してください。

野鳥は、餌が採れずに衰弱したり、環境の変化に耐えられず死んでしまうことがあります。死亡野鳥を見つけても直ちに高病原性鳥インフルエンザを疑う必要はありませんので、冷静に対応してください。

県営筑豊緑地